

# シンポジウムプログラム

総合司会：田島喜代恵

1日目 12月10日：1時20分～7時

シンポジウム開会のご挨拶：

1. 日の出問題を顧みて 1時30分～3時30分 2時間 各約25分間

1.1 ニツ塚処分場建設手続き： 田島 征三 萩原 基資 永戸 千恵

1.2 トラスト運動： 大沢 豊 田島 征三 佐竹 俊之

1.3 環境調査活動 瀬戸 昌之 安藤 隆

1.4 裁判関係者 樋渡 俊一 釜井 英法 福島 晃

2. 日の出問題は何だったか 3時40分～6時50分

司会、コメンテーター： 梶山 正三

テーマ

ごみ処理施設： 谷戸沢処分場、ニツ塚処分場、エコセメント化施設

全国のモデルの処分システム：

建設等手続き： 地元合意手続き 収用手続き アセス手続き 全国への波及効果

処理による影響： 生態系破壊 健康被害 谷戸沢処分場汚水漏れ

司法手続き：

パネリスト：

行政：交渉中 議員：大沢 豊（立川市議） コンサルタント：畔上 統雄（合意形成手続き）

裁判関係者：岩崎 真弓 住民：濱田 光一 調査関係者：中西 四七生

2日目 12月11日 第一部 10時30分～12時30分

テーマ1：現状のごみ処理方法、施策などについて考える

司会兼コメンテーター 梶山 正三

小テーマ

有害物質の管理：有害化学物質 重金属 放射性物質

処理施設： 中間処理施設（焼却） 埋立地 エコセメント化

施策： ごみ減量化 広域処理と域内処理 代替案

パネリスト

識者：交渉中 議員：交渉中 住民側と行政側：畔上 統雄 住民：田島 征三 他 交渉中

裁判・法制度：交渉中

2日目 12月11日 第二部 1時30分～5時

テーマ2：総合討論：ごみ問題解決に向けての展望 施策など 資源循環社会の実現 地域循環論

司会兼コメンテーター 梶山 正三

小テーマ：中央集権のもとで、住民自治と団体自治について 方法論のあるべき姿：代替案

法制度のあるべき姿：行政情報秘匿、予防原則

パネリスト：

行政：交渉中 コンサルタント：畔上 統雄 処分場必要論・識者：交渉中

処分場問題・識者：藤原 寿和 住民：中西 四七生 他交渉中

行政法、地方自治・廃棄物処理関係法令：：交渉中

シンポジウム閉会のご挨拶：